

○平成29年度地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業

「白金カップクロスカントリースキー記録会」(H29.12.9(土)～10(日))

平成29年度
地域ぐるみで「体験の風をおこそう」運動推進事業

2017.12.9(土)
クラシカル

2017.12.10(日)
フリー

白金Cup
CROSS-COUNTRY SKI
IN National Taiyetsu
Youth Friendship Center

冬は「かろくはじまる」

体験の風をおこそう

主催 北海道「体験の風をおこそう」運動推進協議会
主管 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立大青少年交流の家
協力 自衛隊体育学校
協賛 株式会社サップポロスキッド
場所 バーゴヒルバレースキー場内周回コース
参加料 無料
(お申し込みの申込や会費を希望する方は別途料金が発生します。)
※休会期間に11月7日は各団体で加入を依頼いたします。
対乗持物 クロスカントリースキー用具一式
※寝袋、服装に必要な物品
※宿泊の場合、リフト券や温泉入場券などはありません。
※会場の中へ入る場合、上履を準備してください。

国立大青少年交流の家
SINCE 1964

◆目的

- (1) クロスカントリースキー選手の競技力を高めるとともに参加者の交流を深める。
- (2) 競技シーズンの初期のトレーニングの場としての利用を促す。

◆参加実績(募集6チーム)

クラシカル

小学生	17名
中学生	3名
高犬一般女子	26名
高犬一般男子	113名
計	159名

フリー

小学生	9名
中学生	7名
高犬一般女子	27名
高犬一般男子	138名
計	181名

※クロスカントリースキーとは

雪原をスキーで滑るウィンタースポーツである。斜面を下るアルペンスキーに対して、クロスカントリースキーでは平地を進んだり急な坂を登ったりする。リフトを使うことはない。

◆プログラム

1日目

・クラシカルの部

小学生→中学生→高校大学一般女子の部→高校大学一般男子の部の順番でスタートをした。

(3.5km) (5km) (5km) (10km) ※フリーも同距離

2日目

・フリーの部

小学生→中学生→高校大学一般女子の部→高校大学一般男子の部の順番でスタートをした。



クラシカル走法は雪上につけられた二本の溝の上を滑る。スキーを交互にキックして進むため、板には滑るためのワックスと、キックするための滑り止めワックスの両方を塗る。

フリー走法は、アイススケートのように交互に足を開いて進む走法。スキーの歴史の中では後から考えられた滑り方で、クラシカルよりもスピードが出る。

◆成果

- ① 11月中旬から合宿で利用している選手の最終調整の場としての大会を開催することができた。
- ② 小学生フリーの部を設けたことで、小学生にも試合の機会を多く提供することができた。



◆事業運営のツボ・工夫・反省

- ・「冬はここからはじまる」をテーマに、12月の1週目に設定し、早期のコンディション調整や、シーズンへ向けての調整の場となるよう設定した。
- ・今回から、小学生への大会機会の確保の観点から小学生フリーの部を設けた。
- ・当初予定していた「パークヒルバレースキー場」コースの起伏が激しく、安全に記録会を運営できない恐れがあること上富良野町で申請していた、道道吹上上富良野線を使用して記録会を運営した。
- ・参加者の交流を図るため、ゆーすびあホールに大会結果を貼りだすことで、結果を見ながら参加者同士がコミュニケーションをとっていた。

◆事業運営予算

コース整備委託料	950,000円
郵送料	9,000円
消耗品費	2,000円
軽油代	1,000円
合計	962,000円

クラシカル部ベストタイム賞

男子10km 蛭名 貴徳（自衛隊体育学校）タイム26分46

女子5km 渡邊 佑佳（早稲田大学）タイム16分08

フリーの部ベストタイム賞

男子10km 蛭名 貴徳（自衛隊体育学校）タイム25分05

女子5km 渡邊 佑佳（早稲田大学）タイム15分21

